

健康都市連合日本支部大会

取り組み事例紹介 ひと・まち・自然の健康を めざすサンゴ礁保全

ひらら 伊志嶺 亮
いしみな 伊志嶺 亮
あきら

2005/07/14 於 市川市文化会館

宮古島・平良市の概要

宮古諸島の中核都市
 人口 35,000 面積 65km²
 主な産業 農業、漁業、観光
 サンゴ礁に囲まれた亜熱帯環境
 スポーツアイランド

10月1日「宮古島市」誕生
 人口 55,000 面積 204km²

宮古上布 マンゴー サトウキビ

全日本トライアスロン大会

平良市の健康プロジェクト(健康ひらら21)

健康ウォーキング実践
 西会津町との健康交流
 健康ふれあいランド計画

ひとの健康

基本理念
 市民参加をめざす
 ひと・まち・自然の健康

まちの健康
 道路・公園の里親制度
 歴史文化ロードの整備と
 ボランティアガイドの養成

自然の健康
 環境関連条例の整備
 地下水保全事業、緑のダム計画
 平良市の保全種・保全樹の選定
 八重干瀬の保全と活用へのとりくみ

市民による推進委員会
 道路・公園の里親制度
 介護予防教室
 歴史文化ロード 市民ガイド
 サンゴ礁 市民ガイド

健康都市とサンゴ礁保全

ひとの健康 ... 文化背景であるサンゴ礁(八重干瀬)の再評価
 まちの健康 ... 経済振興: 漁場・観光資源の保全、観光振興
 自然の健康 ... サンゴ礁の保全: 具体的保全策と意識啓発

国内最大のサンゴ礁群・八重干瀬(やびじ)

10×7 km、大小100のサンゴ礁
 豊かな生態系
 民族伝承、柳田國男「海上の道」
 古くからの良好な漁場
 ダイビング・遊漁も盛ん

八重干瀬観光上陸

地元伝統行事を大型観光化
 サンゴ礁に約1時間上陸、自由散策
 主催: フェリー2社 + 旅行代理店多数
 時期: 毎年4月中旬3日間程度
 動員観光客数: 約3000人
 宮古観光の一大イベントに成長
 経済効果2~3億円(関係者談)

上陸・自由散策に事実上規制なし。
 観光客 予備知識なし。
 観光業者による案内・説明なし。
 サンゴ踏みつぶし、生物採取による
 サンゴ礁生態系の攪乱が懸念される。

観光と保全の両立への取り組み H10(1988)～

課題 判断材料が足りない

- ★ 八重干瀬の地形が不明
- ★ サンゴの生育状況が不明
- ★ 観光上陸の実態が不明

対応 状況把握の努力

- ★ 国土地理院に地図作成依頼
- ★ 東海大と共同サンゴ礁調査
- ★ 現場視察・アンケート調査
- ★ 関係者聞き取り調査

結論

- ★ 観光上陸を継続する余地はある。
- ★ しかし保全への配慮・対応は必要。




観光と保全の両立への取り組み H13(2001)～

課題 保全に必要な法令がない

- ★ サンゴ礁守る国の法律がない。
- ★ 県条例は漁業関連の範囲。
- ★ 市条例つくっても実効性期待できない。

対応 地域で保全枠組みづくり

- ★ 市民ボランティア「サンゴ礁ガイド」養成・導入
- ★ 観光客の保全意識調査
- ★ 観光関係者へ保全働きかけ
- ★ 地域の関心向上と、保全ガイドライン策定

留意点

- ★ 単純な賛成・反対論議にならないよう配慮
- ★ 観光と保全の両立の模索を強調
- ★ 結論を押しつけないよう配慮



市民ボランティア「サンゴ礁ガイド」 H13(2001)～

行政が観光現場に市民ボランティアを導入する理由

- ★ 八重干瀬の保全と観光の両立は地域の多面的課題。
- ★ 市民ガイドの養成は、島の環境を理解するための社会教育。
- ★ 環境保全と経済振興の両面に理解のある人材育成。

サンゴ礁ガイドの役割

- ★ 観光客にサンゴ礁の自然や文化を紹介する。
- ★ 観光客にサンゴ礁保全を呼びかける。
- ★ 観光客とガイド(宮古島住民)の地域交流。
- ★ 観光関係者の意識をサンゴ礁保全に向ける。






5年間で143名が受講、ガイドとして活躍。

地域でつくる保全ガイドライン H13(2001)～

サンゴ礁ガイドの成果

- ★ サンゴ礁保全に一定の貢献、観光の質向上にも貢献。
- ★ 八重干瀬の保全は、地域の課題であるとの認識が浸透。
- ★ 単純な賛成・反対論議はほとんど見られなくなった。
- ★ 建設的議論の環境が整った。


八重干瀬シンポジウム H15(2003) 八重干瀬ガイドライン策定 H16(2004)

- ★ 観光利用と保全を議論。
- ★ 行政・観光・漁業・市民が参加。
- ★ 保全を地域の課題と位置づける。
- ★ 観光客の保全意識も反映。
- ★ 地域でガイドライン策定を求める。
- ★ 生物採取禁止、サンゴ礁保全努力。

まとめと展望

まとめ

- ★ 健康都市づくりの一環としてのサンゴ礁保全。
- ★ 市民ボランティア「サンゴ礁ガイド」養成・導入。
- ★ 人材育成を通じた建設的議論の環境づくり。
- ★ 当事者だけでなく、地域課題として位置づけ、ガイドライン作りからのスタート。
- ★ 市民参加で環境保全と経済振興両立の試み。



展望

- ★ ガイドラインの内容充実。
- ★ ガイドライン策定に関わる人・団体の拡大。
- ★ ガイドラインの対象活動・エリアの拡大。
- ★ 保全と観光両立をすすめる体制作り。
- ★ 人的・金銭的基盤強化。
- ★ 市民参加による地域作りのモデルケース。

